

監査水準の平準化と向上を目指す

総務委員会

12月12日

所管事務調査

監査基準の策定及び公表

監査基準の策定及び公表についての説明を受けました。
主な質疑は次のとおりです。

【問】これまでと比べて監査実施方法がどう変わるのか。

【答】今回の策定は、国の基準に沿うよう見直すものだが、既に国の基準を満たす監査等を行っており、適法性や正当性を裏付けるものであるため、今後実施方法が大きく変わることはない。

【問】公表することにより監査実施の支障とはならないか。

【答】公表することで、業務の自主的な改善や適正化の促進も期待できるため、直ちに支障を及ぼすことはないと考えている。

【問】今後の監査の調査方法は。

【答】今回の監査基準案に基づき、監査請求の内容に応じた関係者の協力を求めながら、適切な調査を行っていく。

地域のシンボルとして市民に愛される公園を目指す

産業建設委員会

12月13日

所管事務調査

赤塚山公園再生基本計画(案)

赤塚山公園再生基本計画(案)についての説明を受けました。
主な質疑は次のとおりです。

【問】駐車場不足の対応は。

【答】各駐車場の植樹帯やロータリーの構造を見直してスペースを増やし、合理的な駐車場の配列にして駐車可能台数を増やすことを考えている。

【問】今後の整備の進め方は。

【答】位置付けた各事業について、優先順位を付けながら事業化を進めていく。市民ニーズの高い飲食物販の機能、水の広場の充実等を行い、開園30周年に向けて、より魅力的な姿を目指していく。

【問】飲食物販の機能の具体的な考えは。

【答】具体的な手法はこれから検討していくが、飲食物販の機能を充実させ、利用者のサービス向上につなげていく。

その他に開催された委員会

- 10月25日 議会協議会
豊川市開発ビル株式会社の清算に向けた取り組み
- 12月12日 福祉委員会
第2期子ども・子育て支援事業計画(案)
- 12月13日 市民文教委員会
第2期スポーツ振興計画(案)
第3次多文化共生推進プラン(2020-2024)(案)
- 12月13日 産業建設委員会
第3次食育推進計画(案)
環境基本計画2020(案)
一般廃棄物処理基本計画(案)
空家等の適切な管理に関する条例(案)の基本的な考え方

議員研修会

- 9月25日 避難所運営ゲーム HUG研修
議会では、防災研修として、避難所運営ゲーム(HUG)研修を実施しました。内容は、大規模災害時の避難所の運営です。避難者を考慮しながら部屋割りを考え、また避難所で起こる出来事に対して、自由に意見を述べ、かつ、話し合いながら、ゲーム感覚で避難所の運営を学ぶ機会となりました。この訓練で、災害・被害の程度によって避難や避難所の条件も異なることや、正確な情報の入手の大切さ、避難者も含めた役割の共有、避難所で何かもらうという考え方ではなく、まずは持参するという自助の考え方の大切さを学ぶことができました。



陳 情

陳情第12号 ～第15号

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情

愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 森谷光夫

結 果

陳情第12号から陳情第14号は、常任委員会において不採択と決定。
陳情第15号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

陳情第16号

国に対して「すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書」の提出を求める陳情

愛知保育団体連絡協議会 会長 本田 たみ代

結 果

陳情第16号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

※ 国や県に対して意見書の提出を求める陳情は、申し合わせにより「聞きおく」としています。

※ 「聞きおく」とされた陳情は、全議員にその写しを配付し、各会派が陳情内容により意見書や決議の発議が必要と判断した場合は、定例会の中日の前日までに案を添えて議長に申し出ることにしています。
今期定例会において、申し出はありませんでした。

委員会の行政視察報告

議会運営委員会



岸和田市役所会議室にて

- 10月 9日 佐賀県佐賀市
議会運営等改革検討会の取り組み、ICT推進基本計画
- 10月10日 山口県防府市
議会懇談会、議会報告会など議会改革の取り組み
- 10月11日 大阪府岸和田市
政策討論会、災害時における議会对応など
議会改革の取り組み

岸和田市では、議会改革の取り組みの一つとして、政策討論会を行っています。政策討論会は、3つの分科会において、それぞれのテーマに沿った討論を行い、最後に全議員での討論を経て市長への提言書等をまとめるもので、政策形成の有効な手段と感じました。また、昨年9月の台風21号では、市域全体に甚大な被害があったことから、議会として災害対応での課題の検証や改善を市長へ申し入れており、その経緯等を確認することができました。

政策課題調査特別委員会



つくば市役所会議室にて

- 10月16日 茨城県つくば市
つくばSDGs未来都市先導プロジェクト^⑭

つくば市は、平成30年度に「SDGs未来都市」に選定され、『世界のあしたが見えるまち』として、持続可能都市ビジョンを定めています。このビジョンの実現に向け、こどもの未来を始めとする5つの柱建てからなる「CIVIC事業」について、詳細を伺うことができました。今後は、本市の地方創生に係る取り組みにおいて、SDGsが重要視する経済・社会・環境の3側面における観点から注視していきます。

⑭SDGs

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のための国際目標。